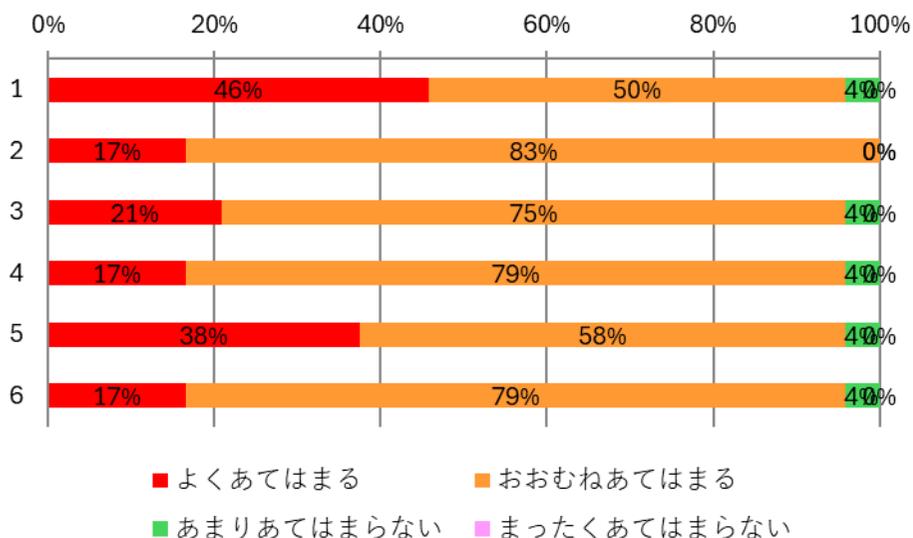


令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(1 ページ)

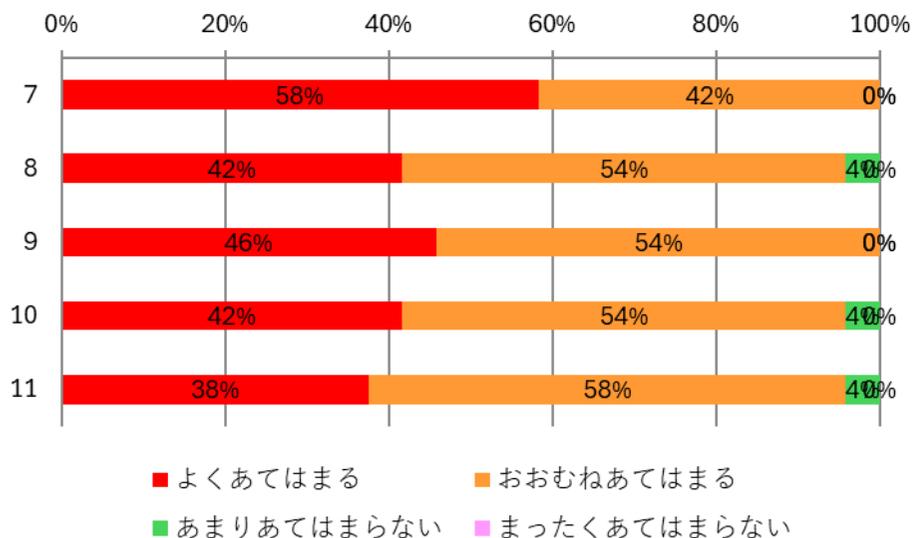
教育目標



項目	内容
1	「人間性豊かでたくましい子どもの育成」に向かって教育活動をしている。
2	「すすんで学習する子」の育成に向けて、自ら進んで学習する子が育っている。
3	「思いやりのある子」の育成に向けて、思いやりのある子が育っている。
4	「体をきたえる子」の育成に向けて、体を鍛えようとする子が育っている。
5	「かかわり合う子」の育成に向けて、人と関わり合おうとする子が育っている。
6	学校教育目標の具現化が図られ、4月当初より児童の変容が見られる。

「教育目標」の項目に関しては、すべて肯定的評価 95%以上であった。「1 人間性豊かでたくましい子どもの育成」は昨年度と比較して「よくあてはまる」が 17%→46%と 29 ポイント上昇、「5 かかわり合う子の育成」は、21%→38%と 17 ポイント上昇である。体験活動を重視した多様な教育活動の展開がこのような結果に結びついていると考えられる。

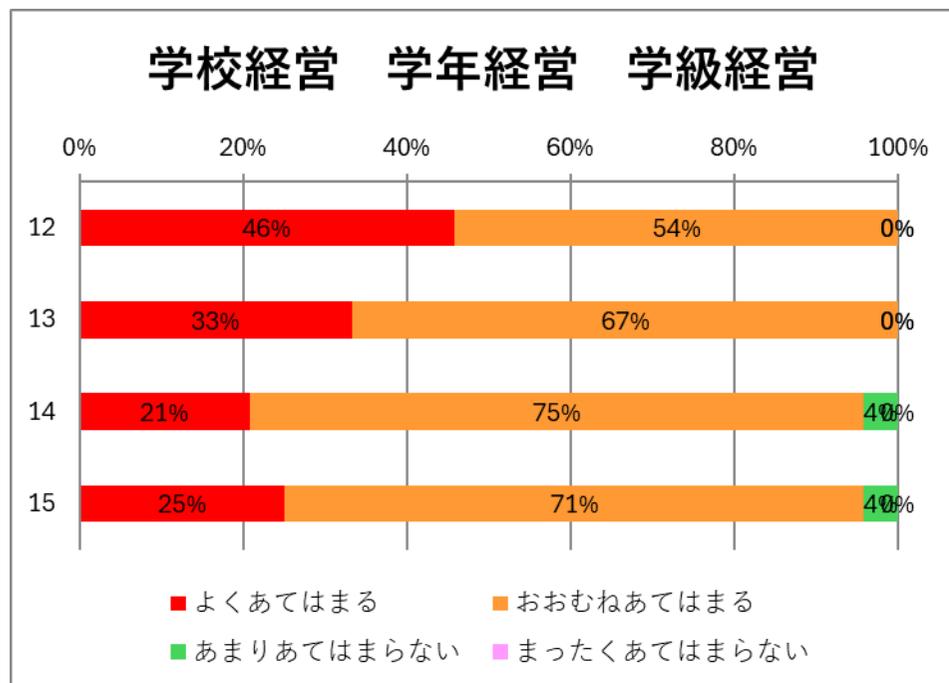
重点事項



項目	内容
7	いじめの早期発見・早期解決に努めている。
8	適切な言葉遣い等、言語環境の整備に努めている。
9	学習進度や宿題について、学年内で調整している。
10	けがの防止に努めている。
11	交通安全の徹底に努めている。

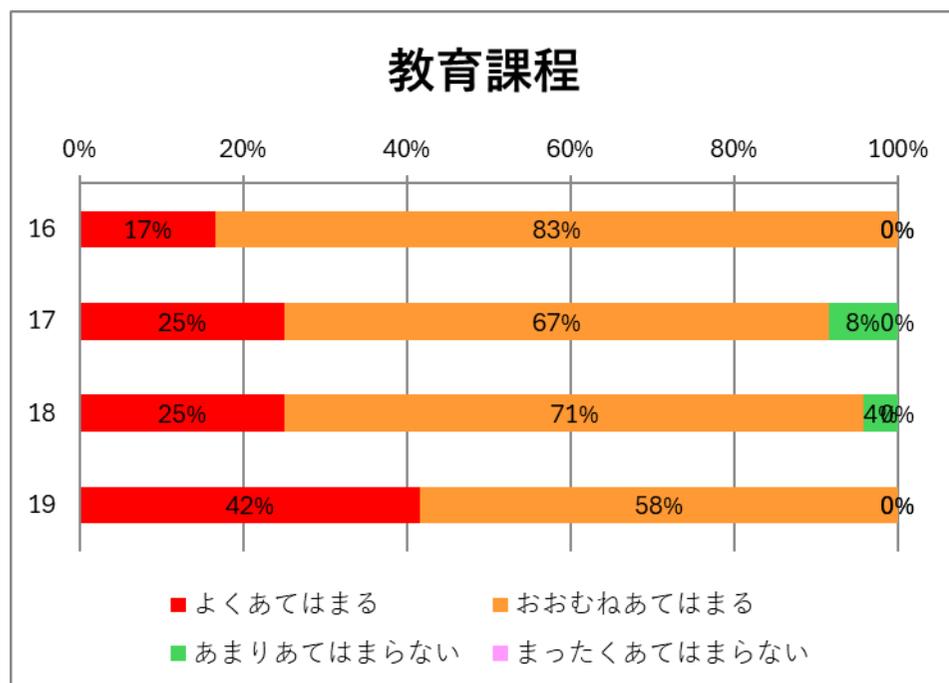
「重点事項」の項目に関して、「7 いじめの早期発見・早期解決に努めている。」が昨年度と比較して「よくあてはまる」が 46%→58%と 12 ポイント改善している。また、「8 適切な言葉遣い等、言語環境の整備に努めている。」29%→42%と 13 ポイント改善している。重点事項については、次年度も引き続き全職員で指導にあたっていく。

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(2ページ)



項 目	
12	各自が校務分掌の内容を理解し、意欲的・計画的に取り組んでいる。
13	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。
14	学年や学級の目標の具現化が図られ、4月当初より児童の変容が見られる。
15	児童のコミュニケーション能力を高めるような取り組みをしている。

「学校経営 学年経営 学級経営」の項目では、「12 各自が校務分掌の内容を理解し、意欲的・計画的に取り組んでいる。」で昨年度と比較して「よくあてはまる」が 29%→46%と 17 ポイント改善が見られた。学校の一員として、自身の校務分掌を確実にやる意欲が高まったことと、全体の協力が必要な大きな行事は、全職員が協力して進めていこうとする意識が醸成されてきたと言える。

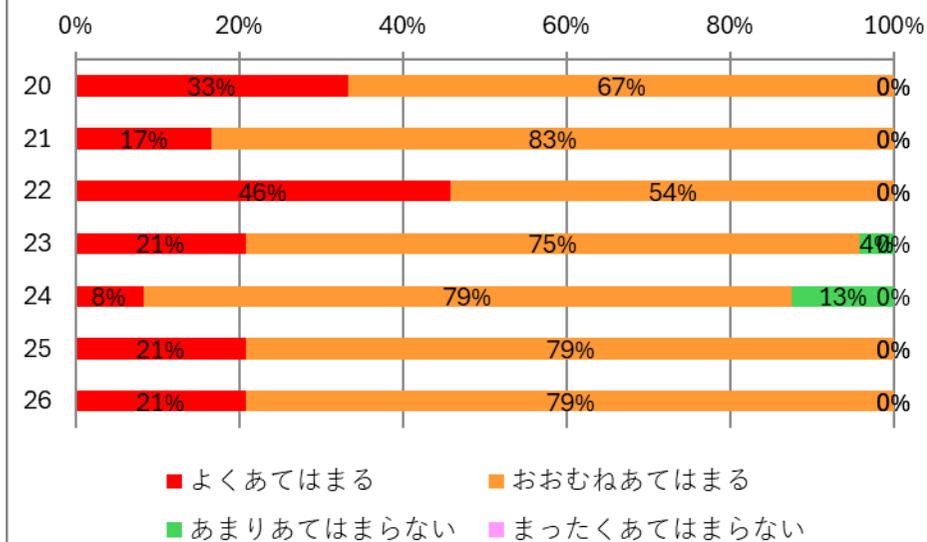


項 目	
16	学習指導要領の趣旨を生かし、計画的な教育課程を進めている。
17	今年度の年間行事・月行事はバランス良く計画されている。
18	各教科・道徳・特別活動・総合的な学習等の時間配当は適切である。
19	日課時刻表は、教育課程全般を考慮し、適切に進めている。

「教育課程」では、余剰時数の適正化をしたものを今年度実施してきた。その成果として、「19 日課時刻表を適切に進めている」で昨年度と比較し、「よくあてはまる」が 21%→42%と 21 ポイント改善が見られた。しかし、反省点として、日課が複雑になっている面や年度途中から授業時間が追加されるなど、わかりにくい面の課題が残った。次年度は、次期学習指導要領を先行実施している研究校の実績も踏まえ、よりわかりやすく、バランスよく、より望ましい教育課程へと現在、検討中である。

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(3 ページ)

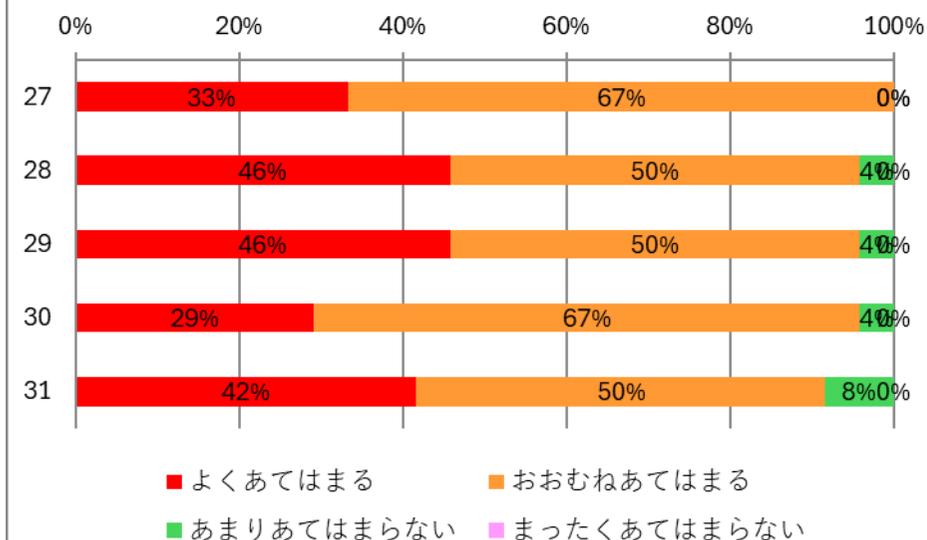
学習指導



項目	
20	授業では、本時のねらいや学習問題が板書されている。
21	指導方法や授業形態を工夫し、主体的・対話的な学び、わかる授業の実践に努めている。
22	教科備品やICT機器(パソコン・タブレット・書画カメラ等)の教材・教具を効果的に活用している。
23	体験的で問題解決的な学習活動を積極的に取り入れている。(実験・観察・栽培・校外学習・外部講師等)
24	1、2年に「英語科」、3、4年に「外国語活動」、5、6年に「外国語科」を実施し、世界を舞台にして活躍できる人材の育成に努めている。
25	基礎基本の内容を明らかにし、その内容の定着に努めている。
26	児童の意欲を高める評価活動を工夫している。(授業・その他の教育活動等)

「学習指導」では「24 英語」を新設した。職員・保護者の評価は低めだが、児童の結果は良好である。英語教育特区を 20 年続ける船橋市で、千葉県に掲げる「国際的に活躍できる人材の育成」に今後も力を入れていきたい。

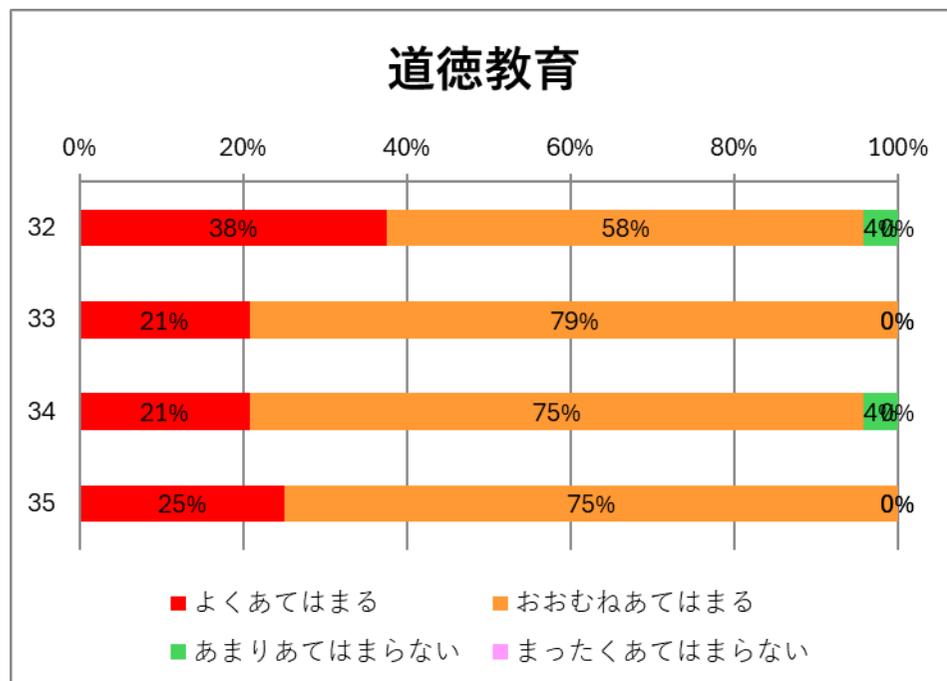
健康体力 安全教育



項目	
27	体育の授業を大切にし、児童に自主的な運動習慣を身につけさせ、体力向上を図っている。
28	登下校の児童の安全確保のために学級や学校全体で指導の工夫をしている。
29	健康や校内の安全に気をつけて生活するよう、指導を徹底している。
30	災害や不審者対応訓練は適切に行われ、児童に危機対応が身についている。
31	食文化の伝承、食育の充実、そして、望ましい食習慣の育成に努めている。

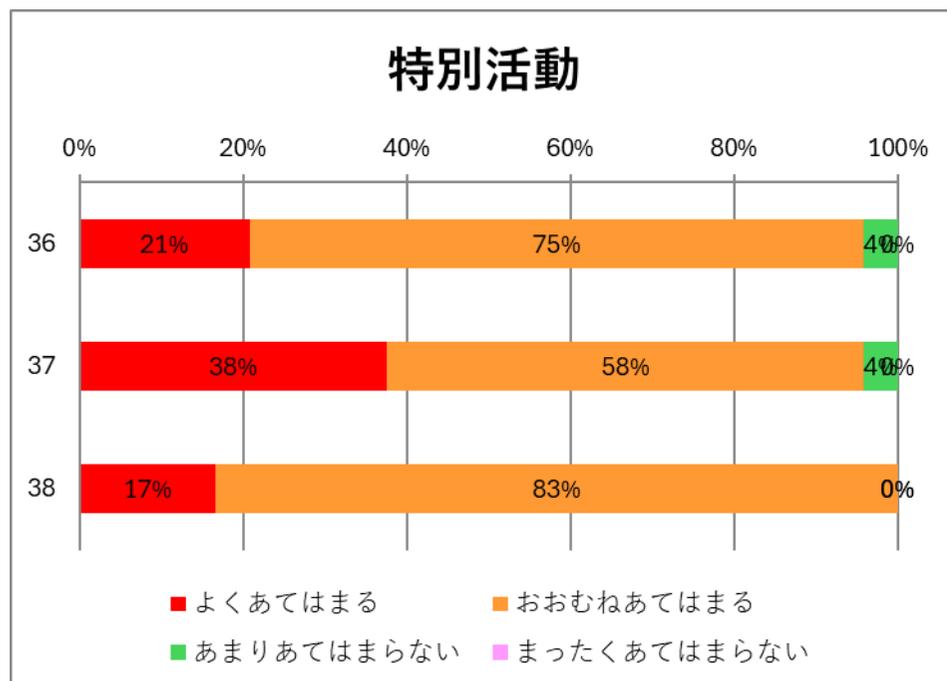
「健康体力 安全教育」の項目では、特に今年度は県外で不審者が教室に入る事件が起きており、「30 不審者」の「よくあてはまる」が 13%→29%と 16 ポイント改善している。防犯カメラ映像を職員室の大型テレビで写しており、校門の点検を絶えず行うことを継続中である。

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(4ページ)



項目	
32	年間指導計画に即して実施し、授業時数を確保している。
33	「自分の大切さとともに他の大切さを認める」規範意識や人権感覚を高める指導の工夫をしている。
34	資料や指導形態を工夫し、児童の心を動かす授業を実践している。
35	すべての教育活動を通して、心を育てる道徳教育を実践している。

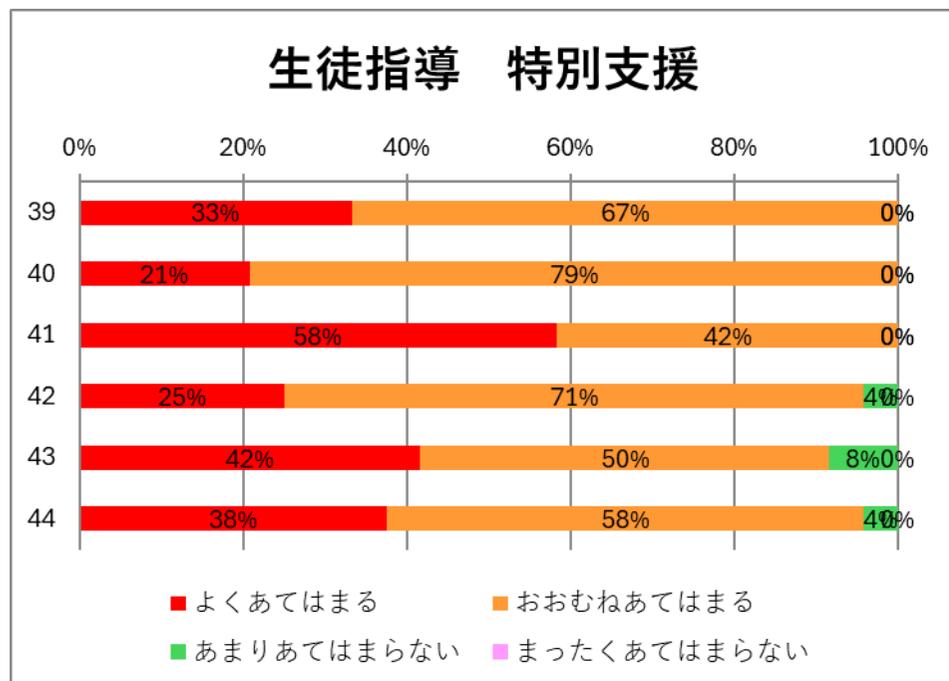
「道徳教育」の項目では、年間1回の授業展開を保護者に公開した。学年によっては、クラスをこえて、担任が交代して別のクラスの授業を実施し、児童の実態把握をさらに深める、工夫した取り組みが行われた。このような児童の実態に合わせるため、当初予定した年間指導計画を修正して実施した学年があり、「32 年間指導計画に即して実施」が「あまりあてはまらない」という回答が見られた。



項目	
36	集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育てる活動を意図的、計画的に進めている。
37	行事への取り組みによって、集団の質が高められている。
38	児童に達成感や成就感を味わわせるよう指導・評価を工夫している。

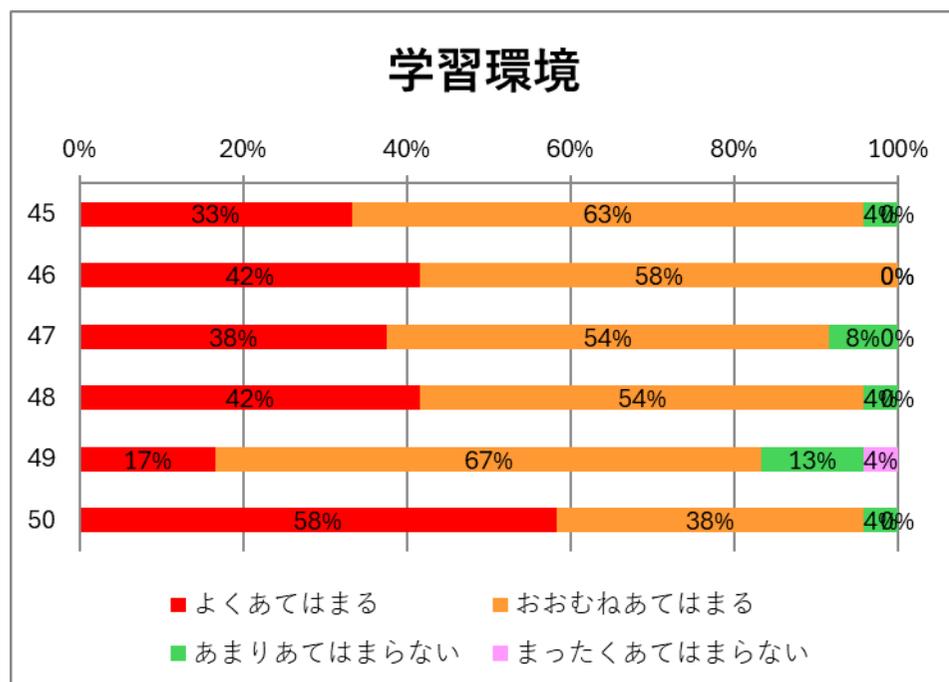
「特別活動」の項目では、昨年度と比較して「38 児童に達成感や成就感を味わわせるよう指導・評価を工夫している。」の「よくあてはまる」が29%→17%と12ポイント低下している。今年度は創立50周年記念行事がたくさん行われており、児童の活躍、印象に残る特別活動がたくさんあった。反面、数多くの行事に追われ、振り返りが十分でなかった面も考えられる。年度末に向けて、振り返り、まとめを行うことで次年度につなげると同時に、達成感や成就感につながる指導のあり方をさらに検討していきたい。

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(5ページ)



項 目	
39	全職員が指導事項を検討・理解し、協力して指導にあたっている。
40	「いじめを許さない。」という気持ちで、日頃から児童の指導にあたっている。
41	必要な情報は、学年内や全職員間で共有化されている。
42	児童理解を深め、一人一人への対応や指導が適切に行われている。
43	特別支援を要する児童に対して、必要に応じて合理的配慮、校内体制がとられている。
44	特別支援を要する児童に対して、必要に応じて家庭や関係機関との連携・協力・支援要請を行っている。

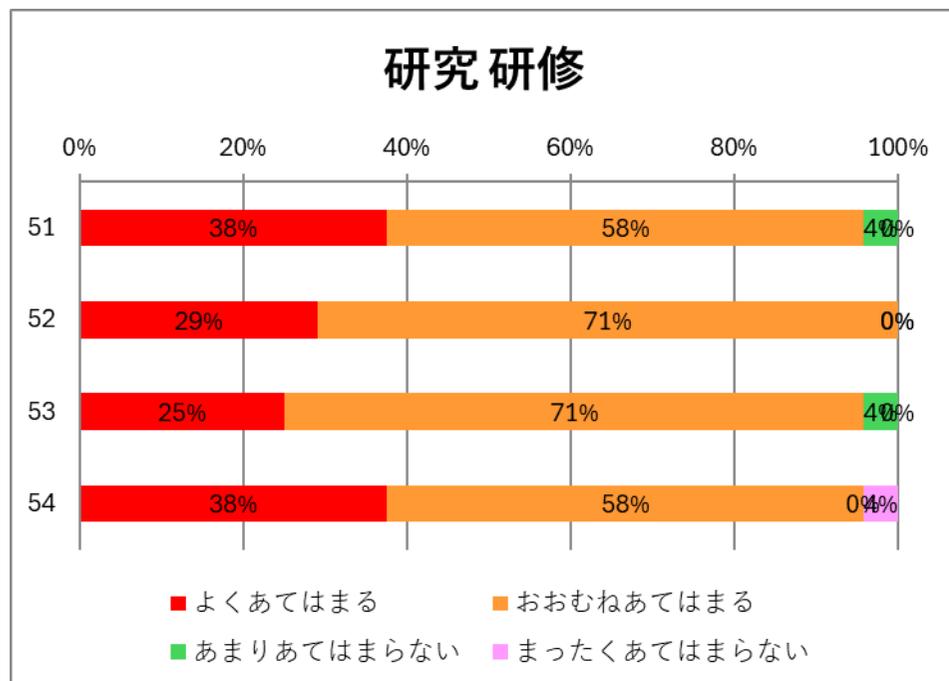
「生徒指導 特別支援」では、「40 いじめ」で「よくあてはまる」が昨年度と比較して、67%→21%と大きく下がっている。前出の「7 いじめの早期発見早期解決」が良好な結果があること、児童の調査でこの項目の意識が非常に高いことが確認済である。引き続き、調査・指導・支援を行っていく。



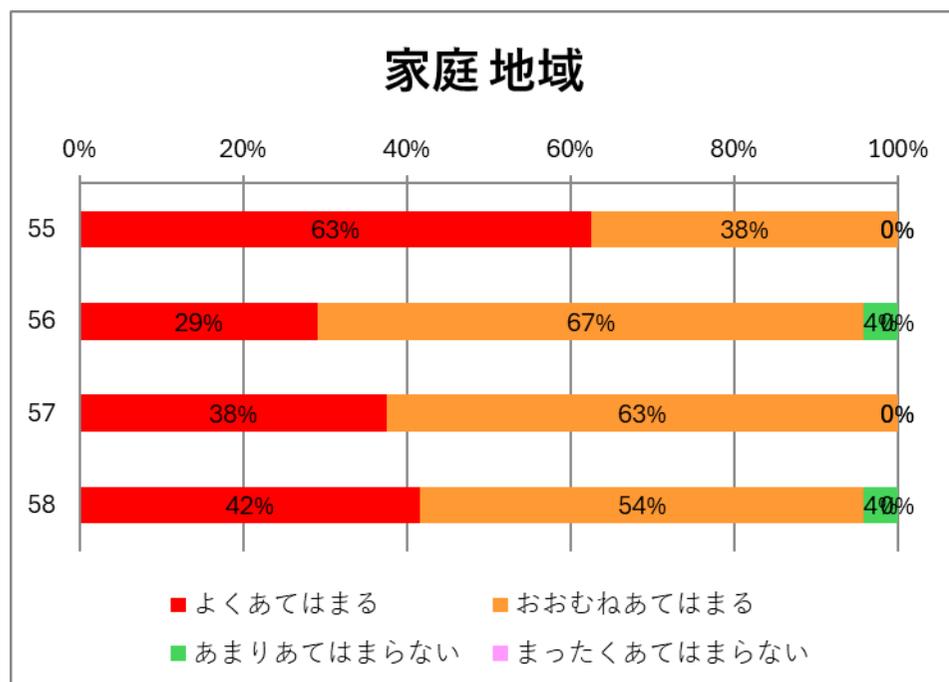
項 目	
45	教職員や児童の言葉遣い、掲示板など言語環境に配慮されている。
46	明るく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができるよう、教室環境が整備されている。
47	教室(校内教育支援センターけやきルームを含む)が一人一人の児童にとって、心地よい居場所となっている。
48	校舎内外の美化環境が整備されている。
49	各教科の備品や教材教具が十分に準備されている。
50	施設設備の管理、修繕が的確になされている。

「学習環境」の項目は、昨年度と比較して「よくあてはまる」が「46 落ち着いた環境」で25%→42%、「47 心地よい居場所」で17%→38%となり落ち着いた学習環境づくりができています。また、水道、照明、換気扇、廊下、トイレ等の改修が進み、「50 施設設備」の「よくあてはまる」が21%→58%となった。

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(6ページ)

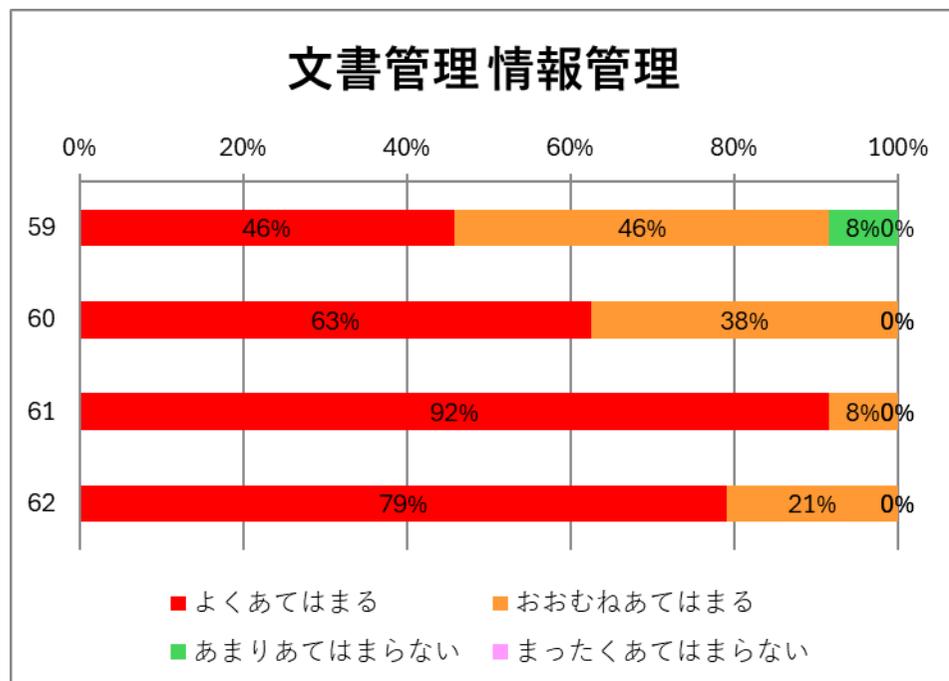


	項 目
51	校内研究は計画的に進められている。
52	研究・研修により授業力が高まり、授業が改善されている。
53	自己研修に積極的に取り組み、その成果を授業等に活かしている。
54	校内研修は、効果的に企画・運営されている。
<p>「研究 研修」の項目は、「51 計画的に進められている」の「よくあてはまる」が昨年度 21%→今年度 38%と 17 ポイント改善した。特に今年度は、不祥事根絶研修の繰り返しの実施、教育実習生の研修の場面での相互授業参観、校内講師による言語通級教室のミニ研修等も実施できた。多岐にわたる教育活動に必要な研修を複数年に分けて、計画的に実施できるように、さらに研修体制の強化を目指していく。</p>	



	項 目
55	保護者や地域住民に対し、学校だより配付やホームページ発信等、情報発信が十分に行われている。
56	学級経営方針や学習指導方法等について、保護者の理解を得よう努めている。
57	家庭との連携を密にしている。
58	学級の保護者(PTA・周年実行委員等)とより良い関係が築かれている。
<p>「家庭 地域」の項目は、昨年度と比較して「よくあてはまる」が「55 情報発信が十分に行われている」で 33%→63%と 30 ポイント向上、「57 家庭との連携」で 25%→38%と 13 ポイント改善、「58 保護者、PTA 等と良い関係」が 29%→42%と 13 ポイント改善した。引き続き、保護者、地域と良好な関係が築けるように開かれた学校作りを進めていきたい。</p>	

令和7年度 学校評価教職員回答集計結果報告(7ページ)



項 目	
59	公文書の適切な管理及びファイリングを行い、必要な文書をすぐに取り出せるようにしている。
60	諸表簿の記入・点検・整理等が適切に行われている。
61	Yubiキー、パソコン等は必ず鍵のかかる所定の収納に入れる等適切に管理している。
62	個人情報の管理については適切に行っている。

「文書管理 情報管理」の項目は「よくあてはまる」の回答が多い。昨年度、課題であった「60 諸表簿の記入・点検・整理等が適切に行われている。」の「よくあてはまる」は46%→63%と17ポイント改善した。年度途中で点検、研修等を行ったことが効果的だったと考えられる。個人情報を保管する書庫の整理を実施したことで、より適切な管理が可能となった。さらに職員の意識を高めていきたい。